

ダム等管理フォローアップ
意見を受けての報告書修正対応表
【室生ダム】

令和2年3月

水資源機構関西・吉野川支社淀川本部
木津川ダム総合管理所室生ダム管理所

【室生ダム】

1. 事業の概要

特になし

2. 洪水調節

特になし

3. 利水補給

特になし

4. 堆砂

特になし

5. 水質

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
5.6.4 水質保全施設の 効果把握と 評価 本編 P5-293～299	<ul style="list-style-type: none"> 水質保全ダムは、栄養塩を沈降させて除去するものであるにも関わらず、本編P5-297の図5.6.4-15では、水質保全ダムにおける全リンの放流負荷量が流入負荷量よりも多くなっている。 	<p>【委員会意見により修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水質保全ダムの流入負荷量と放流負荷量の算定方法を確認し、出水時の栄養塩と流量の関係を考慮した方法に修正した。 <p>この算定方法の修正により本編P5-293～299の図表等の修正を行った。</p>	—
5.6.4 水質保全施設の 効果把握と 評価 本編 P5-315 概要版P.70	<ul style="list-style-type: none"> 水質保全ダムでは夏季に底層が貧酸素化しており、栄養塩が溶出していると考えられ、今後、地球温暖化で貯水池の水温が上がると溶出速度が増加することも懸念される。次回定期報告までに、栄養塩の撤去時期等水質保全ダムの運用の見直し、または底層の貧酸素化改善のための施設の改良等を検討した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 水質保全ダムの運用の見直し、または施設の改良を検討するとともに、それらを検討するために水質保全ダム上流におけるモニタリング調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 水質保全ダムの運用の見直し、または施設の改良を検討するとともに、それらを検討するために水質保全ダム上流におけるモニタリング調査を行う。

6. 生物

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
6.5.1 土砂還元・フラッシュ放流 本編 P6-226 概要版P.105	<ul style="list-style-type: none"> 土砂還元については、下流河川土砂収支や土砂還元による河川環境改善効果などを地元を示すなど、再開に向けた調整を具体的に進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 土砂還元の再開を目指して、関係機関との調整を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 土砂還元の再開を目指して、関係機関との調整を進める。

7. 水源地域動態

特になし